



7月21日 JR東労組盛岡地本こびし会館において、新幹線協議会第6回定期委員会が開催されました。

当日は50名を超える組合員がこれまでの1年間各職場で発生している問題点や教訓的な実践報告など多くの委員から発言がありました。前回の定期委員会から新幹線職場では、1月23日に発生した架線垂下や復旧作業にあっていた作業員の感電事故、郡山駅でのオーバーランなど命に関わる事象が多く発生していたため、安全を最優先に組合員と議論していくことも併せて確認しました。

また組合員が職場の現実を声をあげたことによって、新幹線の各職場が連携し、女性設備の改善などの前進がつけられていることが確認できました。しかし、設備面などではまだまだ課題があることも出され、今後も改善できるように声を出す必要性も議論しました。

新幹線で繋がっている職場は多くあります。それぞれが連携しながら声を上げ働きやすい職場・環境をつくり出す為に団結していきましょう！！

今後も経過報告内容や団体交渉での議事録内容などをお知らせするために、新幹線協議会情報紙「新幹線ネットワーク」のタイムリーな発行を目指していきますので、よろしくお願ひします！！